

資料 ①

- 1、就職部打ち合わせ資料Ⅰ (1-1～1-2)
- 2、就職部打ち合わせ資料Ⅱ (2-1～2-4)
- 3、部長会資料 (3-1)

3月23日（水）就職打ち合わせ

土樋キャンパス8号館3階第一会議室

出席者

前田部長、桔梗課長、黒井課長補佐、鈴木係長、大沼係長、内ヶ崎係長、土田課長補佐

確認内容

1. 就職業務を今後どこで行っていくかについて

- ① 本日の対策本部・柴田副学長の今後の方針として、三キャンパスの建物の安全確認を行ったならば、来週28日（月）から通常業務とする。その安全確認結果は本日の午後3時からの会議で報告するとの報告を受けての前提として検討した。

※ 来週から開室可能なキャンパスで業務を行う。学生にはホームページで告知する。ただし、明日と明後日の取り扱いは、電話で土樋キャンパスが担当する。

※ その後、午後4時に前田部長から連絡があり、本日午後3時からの結果が報告された。土樋、多賀城は使用可能なので来週から学生を入れて再開する。

泉キャンパスはトイレが使えないので、学生を入れられないので電話での学生対応のみとなる。勤務は泉キャンパスで行う。⇒本日ホームページに掲載する。

※ 翌日の3月24日に泉キャンパスでも学生対応を行いたい要望を出したところ、泉キャンパス就職係も開室可能となったのでホームページに掲載した。

- ② エントリーシート対策講座と面接対策講座については、委託先の日本マンパワーとディスコに再依頼して、調整がつき次第にホームページで学生に伝える。

2. 内定者の把握について

- ① 学位記を郵送するので、その中に例年卒業式に配布し交友課で回収している同窓会入会書を同封するかを確認して、回収後に就職課で借りる。
- ② 内定率は、例年後援会総会（5月21日）で父母に配布する「父母のためのガイド」に掲載するために3月末までに入力を完了したいが、次年度に後援会総会を5月21日に行わないのであれば、急ぐ必要はないので日程を確認する。また、文部科学省の学校基本調査についても例年5月上旬に作業を行い、5月中旬に調査企画課へ提出していたのでその日程も確認する必要があるとの判断がなされた。

3. 内定取り消しの対応について

- ① 学生から内定取り消しの報告・相談があった場合は、学生の所属学部・学科、学生番号と名前を確認後に内定取り消し企業名や事情を聞いた後に「仙台学生職業センター」022-768-8055にも連絡するように伝える。

4. 内定取り消しに伴う卒業延期の要望があった場合の対応について

- ① 学生又は父母より内定取り消しに伴う卒業延期の要望があった場合は、「残念ながら

本学では卒業延期に関する特別措置の制度はありませんが、卒業後も就職支援を行っていますのでご利用ください。」と伝える。

5. 平成23年度のインターンシップの実施について

- ① 受入れ事業所の状況や本学の夏休み期間も、大幅に短縮されると予想されることから平成23年度は中止とする。事業所へは4月中旬に中止の連絡を行う。

6. 就職委員会の開催について

- ① 4月14日（木）に予定していた就職副部長会及び就職委員会は、学事課で新学事暦を作成後に、改めて就職部行事を作成し直し、その後に就職副部長会と就職委員会を開催することにした。日程は未定。

## 就職部打ち合わせ

日 時：平成 23 年 5 月 12 日（木）

場 所：土樋キャンパス 2 号館 3 階教室

時 間：9 時～11 時 30 分

出席者：前田、桔梗、黒井、嶋、加藤、土田

## 討議内容

### 1. 平成 23 年新規予算の就職サポート事業（就職サポートルーム）について

前回の会議で討議し平成 23 年度新規事業に予算化された、就職サポート事業について具体的な内容を再度討議した結果、以下の確認を行った。

- ① 前回討議した名称（ホームページ掲載バナー）は、別紙提案の「就職サポートルーム」とした。
- ② ホームページに開設のお知らせ（別紙）と取り組み内容（別紙をQRコードも含め、また一部文言の修正を行い掲載することにした。その際に、前回コンセンサスがあった i. 学内合同セミナーのスケジュール日程及び ii. ガイダンス概要も掲載することにした。
- ③ その他に、教員が学生の就職に関心を持つよう 3,4 年生ゼミ生に就職支援として、今回契約している 3 名の相談員を派遣することにした。ただし、今年度はゼミの時間に行うのではなく木曜日の 4、5 校時に行うことにした。教員への案内は、学部教授会及び全学教授会で案内する。

### 2. 内定取り消し者に対して「研究生」として在籍させる件

前回、前田部長より説明された本学の方針として、内定取り消し者に対して「研究生」として在籍させる件が正式決まったと前田部長から報告された。

卒業生への情宣は、ホームページに掲載し以下の手続きを取らせる。学籍は 9 月末までとし、研究料は徴収するが同額を奨学金のような援助金で補助するので実質無料となる制度である。

#### ◎手続きの流れ

- ① 該当卒業生は卒業所属キャンパスへ申し込み
- ② 申し込み条件である内定取り消しを証明する文書の確認を行う。その際本人が学生職業センターへ届けてないのであれば届けさせる
- ③ 志願者が出願手続きを行う。（所管部署・教務）
- ④ 志願された各学部教授会の議を得て、大学長が許可する。

なお、問い合わせがあった場合に研究生として在籍させても就職活動にはメリットは少ないことは伝えても構わない。

### 3. 就職状況の件

平成 22 年度も就職状況が決定した（別紙）ので、副部長を通じて各学部教授会で報告することにした。（資料は原文の資料を配布しても可とする、ただし、後援会資料などに掲載する資料は昨年同様に一部を非表示とする）その際に事前に各副部長に事前に説明を行う。土樋キャンパスの副部長へは前田部長が説明を行い、泉、多賀城キャンパスへの副部長へはそれぞれの担当者から行う。（昨年度の資料と、グラフ化された時系列の就職率も含めて）

### 4. 経営学部 和田副部長が首都圏大学へ配信した「被災学生の支援についてお願い」の件について

前田部長から次のことが報告された。

過日、学長室経由で首都圏大学から震災した地域の大学へ支援を行う意向が伝えられており、その件で、前田と和田副部長、桔梗課長と先日打ち合わせを行った。しかし方針が何ら決定していないのにも関わらず別紙のように、和田副部長が首都圏の大学へ「被災大学生への支援についてお願い」としてメール配信していたことが判明した。（桔梗課長へ日本大学就職課からの問い合わせにより分かった。）

内容は、大学だけでなく、東北地区の全大学も包含して支援いただきたい趣旨である。和田副部長がお願いした具体的内容は

- ① 大学のセミナーハウス、寄宿舎などを解放して、就職活動生に提供いただく。
- ② 大学の就職部において、就職に関する情報提供など、アドバイスを頂く。
- ③ 大学のカウンセリングセンターなどに協力いただき、心理面でのケアを頂く。

については、今後の対策を検討したいとの提案があった。

討議の結果、和田副部長の行動は機関決定していないフライング行動であるので遺憾な事実であるが、既に配信され、無かったこととして知らせることは無理がある。

については、前田部長が大学室長と会い事実の確認を行い、善後策を考えるが、就職部の意向として和田副部長がお願いした上記①と③については双方の大学にとって対応が困難なことから、②の就職部の利用についてののみお願いする方向で進めることを確認した。

### 5. 大学の震災復興支援事業として、就職部からの要求について

前回会議で確認した、震災復興支援事業は、5 月中に説明があり、6 月 7 日迄申請と桔梗課長から報告された。

前回で確認された以下の①と②の他に③も追加して申請することにした。

- ① 予算を削減した企業訪問旅費（6 月頃から東北と東京の企業訪問）

※ 県内は 6 月頃に訪問を行う。県外は要求した予算が示達された後に行う。

訪問は従来 of 企業訪問通り 3 キャンパスで行う。

- ②.他に学生へのバスツアーなどの交通費負担援助

③震災で被災した学生への旅費交通費の補助

6. その他

東北経済産業局支援による合同セミナー開催について

前回会議で報告された東北経済産業局支援事業に東北地区就職問題協議会が相乗りして本学泉キャンパスで8月10日（水）開催する件は、まだ具体的に話が進んでいない状況であると桔梗課長から報告された。

以上

文責：土田

## 特別研究生の取り扱いについて

- ① 該当卒業生は、卒業所属キャンパス就職課・係へ問い合わせること
- ② 企業からの内定取消し通知があることその確認をする。その際本人が、学生職業センターに届けていない場合は、届けさせること
- ③ 在籍は1年以内（平成24年3月31日まで）
- ④ 指導教員(或は学部長)の下で、研究を行うこと
- ⑤ この制度の申し込み期間は、特例として9月末日までとする
- ⑥ 学内の施設が利用できる
- ⑦ 許可された場合には研究料（学納金）を支払うこと、ただし、研究料（学納金）と同額の研究費を補助することとし、実質的に研究料（学納金）を免除する
- ⑧ 申し込みは、教務課および学務係が扱う
- ⑨ この研究生の申し込みによる研究生受け入れの決定は学部長が随時行い、学部教授会へ報告義務がある

## 部長会報告要旨（就職部）

2011.03.31

部長会資料

土樋・本館会議室

### I.経過報告

#### 1. 地震発生時の就職部関連行事

##### <土樋>

- ①地元就職支援第7回学内合同説明会（6社参加）、231番教室  
学生54名、企業6名 計60名 ②エントリーシート添削講座、面接  
対策講座参加学生5名、講師6名（221、222番教室）③公務員対策  
講座説明会21名、601番教室（生協担当）④ 資料室5名、窓口4  
名、企業来客1名、以上全員無事確認。

##### <多賀城>

- ①エントリーシート添削講座、面接対策講座、学生1名、講師2名。資  
料室利用学生5名、職員3名、以上全員無事確認済み。

##### <泉>

- ① エントリーシート添削講座学生 6名 外部講師2名、企業来客2名  
② 就職専任職員3名の計13名が在室していたが、全員無事確認

### II.業務

- ① 23・24・25日は、電話対応のみ（内定取り消し等の相談数件あり）。  
② 28日（月）～通常業務（土樋9：00～16：00、多賀城9：00～16：  
00、泉10：00～15：30）再開。

### II.今後の予定（4月）

- ① 公務員講座（631・622教室）4月上旬再開、予定人数約100名。  
② エントリーシート添削講座、面接対策講座（221、222教室）4月上  
旬再開予定。

### III.検討課題（部内）

- ① 就職部23年度行事予定修正  
② 就職委員会開催（持ち回りの可能性もあり）  
③ 就職率算定  
④ 被災による（直接的・間接的影響による）内定取り消し等（取り消  
し5社8名、入社式延期6名、3月30日現在）への対応。

以上